

Em-Shelter II/ エム・シェルター2

使用法

商品が届きましたら、まずはご自宅で充分に使い方を練習してください。

非常時に使用する際に、手間取らないようあらかじめ慣れておきましょう。

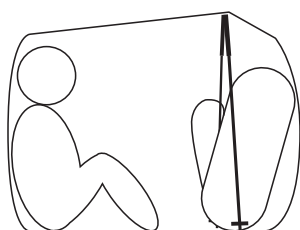
実際に身の危険を感じた際は、むやみに動き回って体力を消耗する前に、

転・滑落および落石・雪崩の心配のない場所、なおかつ風を避けられるような場所で Em-Shelter をかぶりましょう。

とても薄い一枚の袋ですが、外とは隔絶された空間を得られ、大きな不安の中に安心感が得られます。

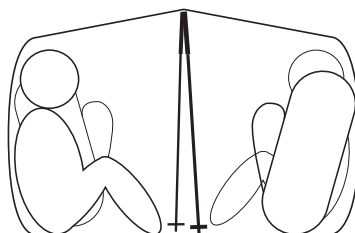
以下は使用例です。

その場の状況に応じて、いくつかを組み合わせて少しでも快適な空間を作ってください。



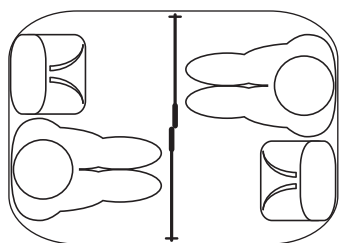
1人での使用

開口部のループにトレッキングポールの石突を入れ、握り手を天井のループに固定します。
※別図参照
向かい側のシート部分にザックを置きます。少しテンションを掛けると空間が広がります。



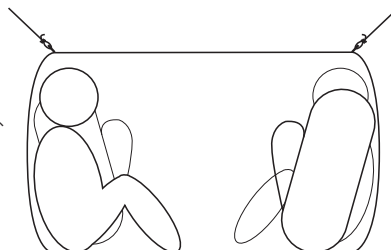
2人での使用

脇にザックを置いて向かい合わせに座ります。少しテンションを掛けると、長時間でも比較的楽に座ることができます。さらに天井中央のループを利用してトレッキングポールを立てると、より空間が広がります。
※別図参照



2人での使用

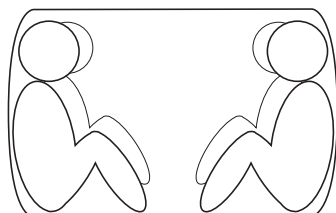
対角線に座ると、より空間が広がりますが、その場に応じた配置を工夫して、最も快適な方法を選択してください。



吊り下げて使用

外側両端の穴に細引き等を通し、立ち木や岩場の支店等から吊り下げます。

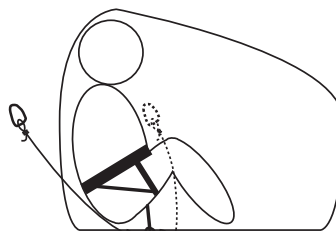
※体重を支えるほどの強度はありません。余裕を持たせ、本体の吊り下げ用としてご使用下さい。



4人での使用

ザックを外に出せば最大4人入れます。この場合窮屈になりますが、シェルター内はかなり暖かくなります。

※体格や現場の状況により、4人入れない場合もあります。



岩場等での使用

開口部のループやベンチレーションにメインロープ等を通してセルフビレイを取ります。

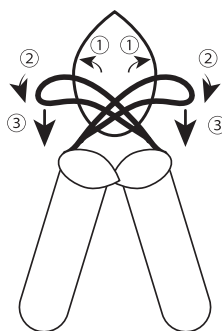
※セルフビレイは必ず支点やメインロープなどから直接取ってください。



切迫した場合

身動きがとれないほど切迫した場合は、何はともあれ、ただかぶって座り込んでください。

※転・滑落、落石、雪崩等に十分注意してください。



トレッキングポールの固定法

- ① ポールのリストストラップをシェルター天井のループに通します。
- ② 反転させて
- ③ もう一方のグリップにかぶせます。



強風時は、当商品を広げた時に風を受けて、転・滑落をしないように注意してください。

また、当商品を風で飛ばされないように注意してください。

当商品をご使用の際は、換気に注意してください。

火に弱い材質でできていますので、火気を遠ざけてご使用ください。

Juza Field Gear

〒331-0804

埼玉県さいたま市北区土呂町 2-57-4

Phone/ Fax: 048-782-7694

<http://www.juza.co.jp>